

京都市(京都府)の一体的実施

平成24年12月3日事業開始

西京区役所洛西支所、伏見区役所醍醐支所、京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすの3庁舎内に「福祉・就労支援コーナー」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者に対する支援

② 協定・事業計画

・京都市長と京都労働局長の間で協定(*)を締結
・数値目標を盛り込んだ事業計画を京都市と京都労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

・京都市職員、京都労働局職員、ハローワーク京都西陣・伏見職員をメンバーとする運営協議会を設置
(京都市保健福祉局生活福祉部長が会長)



福祉担当課等が入居する庁舎に福祉・就労支援コーナーを設置。身近な区役所等で、ハローワークの職員が、即時の職業紹介と予約制・担当者制を組み合わせつつ対応し、福祉から就労までの一体的支援を実現。

(1) 福祉・就労支援コーナーの設置場所

西京区役所洛西支所：京都市西京区大原野東境谷町2丁目1-2

伏見区役所醍醐支所：京都市伏見区醍醐大溝町28

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす：京都市北区下鴨北野々神町26

(2) 実施体制

京都市

- ・生活保護担当職員
- ・ひとり親家庭支援担当職員
- ・指定管理先相談
計5名を配置

国(京都労働局)

- ・職業相談員等 計6名
(各施設2名配置)
- ・求人情報提供端末 計6台
- ・職業紹介端末 計6台

※職業紹介端末を25年11月に各施設1台増設

(3) 事業目標と取組状況

		事業目標	取組実績
24年度 (24年12月～25年3月)	◆新規支援対象者数	180人以上	200人
	◆就職件数(自己就職を含む)	72人以上	60人
	◆就職率	40%以上	30.0%
25年度 (25年10月末現在)	◆新規支援対象者数	616人以上	252人
	◆就職件数(自己就職を含む)	247人以上	182人
	◆就職率	40%以上	72.2%



就労支援の一層の充実に向けて

— 「福祉・就労支援コーナー」の開設 —

京都市長：門川 大作

市民の皆様の視点に立ってあらゆる政策を融合する。市政運営を進めるうえでの私の信条ですが、現在、福祉支援と就労支援を融合した取組が本市と国との確固たる連携により着実に前進しています。

平成24年12月、本市は区役所・支所等3箇所の施設内に、本市職員とハローワーク職員が一つのチームとなり「福祉・就労支援コーナー」を開設しました。これによって福祉支援と就労支援双方のサービスを一元的に、きめ細かく提供することが可能になり、施設の利便性も向上しました。

開設後1か月の間にコーナーを御利用くださったおよそ60名のうち、実に7割の方が初めてハローワークに登録された、もしくは長期間ハローワークを利用した求職活動を行うことができなかつた方でした。福祉サービスの向上が求職活動の利便性向上につながり、相乗効果を生み出していることを誠に嬉しく思います。

今後とも、「福祉・就労支援コーナー」の機能を最大限に活用し、関係機関との連携を図りながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。

一体的実施事業による就職成功例

女性：30歳代 希望職種：経理事務
直近の状況：パート（体調不良により退職）

① 抱える課題

- ・母子家庭の母（児童扶養手当受給）。
- ・職業訓練（経理事務）を受講後、簿記の資格を取得するが実務経験が不足するため経理事務で採用されない。
- ・経験のある損害保険事務に採用になるも、体調不良により退職。自信を喪失し希望する職種が定まらない状態であった。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・本人の自信回復と維持のため未経験でも経理事務への採用の可能性が十分あることを指導し、情報提供を行うとともに積極的な応募を勧奨。
- ・週1回の職業相談の中で本人の就労への意識とともに体調も回復。
- ・履歴書・職務経歴書等の応募書類の添削、志望動機の確認等の支援を行い、未経験である経理事務へ応募意志が固まる。
- ・通勤に便利な自宅近くのパート求人を情報提供し、面接に至る。

③ 結果 ※支援期間 3ヶ月

経理事務（税理士事務所）で採用

- ・一日8時間、週5日勤務の非正規社員

【本人のコメント】

- ・希望していた経理事務に就職ができた。石の上にも3年。がんばります。

男性：40歳代 希望職種：施設管理・販売
直近の状況：正社員（退職後1年半の求職活動あり）

① 抱える課題

- ・積極的に求職活動をしているが採用にならない。子どものためにも早く就職し、生活保護から抜け出たいと支援を希望。
- ・経験のある薬局での販売を第一希望としながらも、販売士の資格がないことを懸念。他の職種への転換も考えているが迷いが見られる。
- ・販売関連職種では不調が続き、焦燥感が強い。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・不調続きによる焦燥感からむやみに応募職種を広げており、もう一度キャリアや適性について、振り返りを実施しニーズの把握に努めた。
- ・販売・店舗管理を希望しながら、施設管理にも強い関心と適性が認められるため、求人情報を提供し検討を促す。
- ・その後、本人の希望により正社員での施設管理・警備に希望職種を切り替え、求人検索を行う。
- ・また、未経験職種であるため、面接時の想定問答や志望動機等でアドバイスを行う。

③ 結果 ※支援期間 6ヶ月

施設管理（宗教法人）で正社員採用

- ・交替制あり

【本人のコメント】

- ・丁寧に対応してもらえたので、就職意欲を持ち続けることができた。子どものためにもう一度がんばります。